



みなさん、こんにちは！はあとメール代表の住田正則（行政書士・社会保険労務士）です。

## はあとメールは、『地域づくり』を目指します ②

はあとメールと『地域づくり』についての考察、第2弾です。

『地域づくり』と言いましても、何か特別な、大掛かりなことをやろうというわけではありません。私たち、はあとメールのスタッフは、法律の専門家として相談会などで市民の皆さんのお困りごとをうかがうだけにとどまらず、何も起きていない日常だからこそできる心の交流を目指して、毎月小冊子を皆さんのお手元にお送りしている小さな任意団体に過ぎません。これから先も、おそらくこの基本姿勢に変更があることはないでしょう。

しかしながら、私たちを取り巻く社会環境が大きく変容しつつある現在、個人・法人を問わず、またその規模を問わず、文字通りみんな総出で取り組まなければならない課題があるように私には思えます。



～文通で、あなたのくらしにうおいと安心を～  
「市民のみなさんと法律家（専門家）の双方向の交流を、  
文通によって実現していきます」

高齢社会への対応策しかり。

少子化・晩婚化・非婚化の問題しかり。

東日本大震災で明るみに出た、エネルギー政策や行政機関の問題しかり。

これらの課題は、今年になって急に降って湧いたものではなく、実は過去10年～20年くらいの間にゆっくりと形づくられてきたものだろうと思います。東日本大震災は天災であり、それだけを見れば確かに突然あらわれた災厄なのですが、しかしいったん原子力発電所が事故に見舞われれば、今回のような事態になるであろうことは当然に予測されていました。いわば国民全員で、根性試しのチキンレースに出場していたようなものです。



行政機関の問題というのは、単に政治家の誰それが悪いとか、そういうことを言いたいものではありません。いちばん重要なのは、こうした緊急事態において、肥大化した行政組織にはかえって市民の生活の足かせになる場合がある、ということです。なるほど、国土交通省の指導のもと、地震で壊れた国道などは素晴らしいスピードで復旧できたかも知れません。その反面、行政機関はどうしても平等とか均等とかにこだわるので、被災した方々それぞれに対して適切な支援をすることは大の苦手のようです。

これは、今回の大震災に限らず、高齢社会への取り組みや、少子化・晩婚化・非婚化への対策などにおいても言えることです。



つまるところ、私が皆さんにいま取り組まなければならない課題として示したいものは、この行政と市民生活のバランスをいかにとりながら生きていくかということになります。

私を含めて、多くの日本人は「お上（おかみ）」に対してゆるぎない信頼を抱いています。その反面、お上を恐れているのかも知れませんが……。何か事件が起こると、よくマスコミは「国はなにをしていた」「行政がキチッと対応してくれないと」などと言い立てます。まあ、国民大多数の声を代弁していると言って

よいでしょう。しかし、しかしですよ、国や地方の行政機関があらゆる事件・問題に対して十分な対応をしようとすれば、それは必然的に職員や予算を増やさないといけないことになってきます。いまよりもさらに数多くの公務員さんたちが、私たちの生活を見守り（監視し）、これまで以上に税金を負担していかなければなりません。あるいは、国債を発行して、負担を先送りするか……。このような未来は、果たして私たちにとって本当に幸せなことなのでしょうか？



ここで私は、「地域づくり」の重要性を改めて掲げます。「地域づくり」とは、すなわち市民社会＝行政に過度に頼らずに市民それぞれが自立して暮らす社会をつくるうえでの、基盤となるものだろうと考えるからです。

（次号へつづく…）

### 「はあとメール」の活動について、ご説明いたします。

基本的に、毎月1回（15日前後）に、法律ひとくちメモやくらしのお役立ち情報などを盛り込んだ「はあとメール」を、本活動の趣旨にご賛同いただきました方々（「はあと会員」と呼びます）へ向けて郵送いたします。会員の方々は、スタッフへ向けてご質問・ご相談などのおたよりを送ることができ、それに対してのお返事をスタッフが書く、という流れで、双方の心のふれあい・意思疎通をはかります。

また、会員の方々は、スタッフが開催する相談会やセミナーに優先的にご参加いただくことができ、必要に応じて遺言・相続などの業務依頼をスタッフに発注することができます。すでに心安くしているスタッフへの依頼ですから、その安心感は格別なものになるのではないかと思います。

☆「はあと会員」会費 → 無料です！！

現在、はあとメールは、スタッフから集めた会費及び寄付金によって運営されており、「はあとメール」もその予算の範囲内で発行しています。

よって、少なくとも現時点においてはスタッフ以外の会員の方々には会費をご負担いただくことなく、お申し込みいただくだけで、すぐに「はあとメール」をお送りいたします。

さあ皆さん、ぜひぜひ「はあと会員」の輪の中にお入りください！

それと同時に、皆さまの善意による寄付を広く受け付けております。いただきました寄付金は、はあとメールの今後の活動をよりよくするための費用として大切につかわせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします！

「はあとメール」バックナンバーのお求めにも応じます。お気軽にご連絡ください！



（住田 正則）